

「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

1 単元名

第6学年「ふるさとの良さを紹介しよう」（東京書籍）

2 単元目標

- ・書くことに必要な事柄を進んで集めたり、それらを活用して書いたりする。（国語への関心・意欲・態度）
- ・目的や意図に応じて、書く事柄を収集する。（書く能力）
- ・取材メモを生かして、文章全体の構成を考える。（書く能力）
- ・図表やグラフなどを活用して、自分の調べたことや考えが伝わるように書く。（書く能力）
- ・文章にはいろいろな構成があることを理解する。（言語についての知識・理解・技能）

3 指導にあたって

本単元「ふるさとの良さを紹介しよう」は、自分の住んでいる地域について、紹介したい良さを本やインターネット、インタビューなどによって調べ、新聞やパンフレット、文集などの形式を選んで書きまとめる言語活動として設定されている。今回は、この言語活動をアレンジし、淡路島方面への修学旅行の学習と関連付けることにより、より効果的な学習となるようにしたいと考えた。

自分の地域ではなく、淡路島の良さについて、本やインターネット、現地でのインタビューなどによって調べ、新聞かパンフレットのどちらかの形式を選んで書きまとめるという展開で単元を構成する。さらに、書いたものを、次年度に修学旅行に行く5年生に読んでもらうことによって紹介する活動も取り入れ、書く相手や目的に対する意識をもたせることとする。

本単元では、特に、条件に合わせて書く力を育てることを重点とする。高学年になると、相手に分かりやすく伝えるために効果的に書くことが必要となる。そのため、目的、相手、形式、字数など、様々な条件の下で書くことが要求される。本単元では下記のことを条件とする。

目的・・・修学旅行で体験した淡路島の魅力を記録として残す。

相手・・・来年の6年生(現在5年生)に読んでもらう。

形式・・・新聞またはパンフレット形式で書く。

字数・・・四つの事柄について紹介する。事柄一つにつき150字程度にまとめ、図表を活用して書く。ただし、中心となる事柄はくわしく書く。

4 評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・資料を進んで集めたり、活用したりして書こうとしている。	・紹介したい事柄を決め、必要な材料を集めようとしている。 ・集めた材料をもとに、全体の構成を考えている。 ・図表やグラフなどを効果的に使って文章を分かりやすく書こうとしている。	・文章の構成には、いろいろなものがあることを理解している。

5 関連させる「指導例」

「学校の紹介」（作成：平成 22 年度滋賀県学校改善アクションプラン推進協議会 国語調査部会）

6 「指導例」の位置付け

「指導例」による学習は、集めた材料をどのように整理して書けばよいのかを考える学習として位置付ける。

資料①「わたしたちの学校の好きなところ(アンケート結果)」の項目や数字(人数)を読み取って紹介したいことを考える学習では、表から読み取ったことをもとに、自分の考えの理由や根拠をはっきりと述べさせたい。また、資料②「話し合いの一部」から遊具等の良さについて読み取る学習では、「自分の考えをはっきりとさせる」という目的をもって読むことを意識させたい。これらの学習を通して、自分の考えをもち、根拠を明確にしながらかきまとめる力を付けさせたい。

7 指導計画（全 8 時間） ※太枠の部分は「指導例」を活用した授業

次	時	本時の目標	学習活動（○印：評価規準 【 】：評価方法）	指導事項との関連
第一次	1	・修学旅行での取材の仕方について知り、学習計画を立てる。	・修学旅行の日程を知り、紹介する事柄について予想する。 ○取材の仕方を理解できたか。 【発言の様子、ワークシートの記述】	[B 書くこと] ア
	課外	～修学旅行を通して～ ・見学、インタビューなどを通して、材料を集める。		
	2	・取材した事柄を整理する。	・見学メモ、写真、パンフレットなどを整理し、紹介したいことを決める。 ・新聞やパンフレットなど、紹介する方法を決める。 ○紹介したいことを決め、全体の構成を考えたことができたか。 【発言の様子、ワークシートの記述】	[B 書くこと] ア [B 書くこと] イ
	3 (本時)	・複数のテキストを的確に読み取る。 ・条件に合わせて自分の考えをかきまとめる。	・資料①「わたしたちの学校の好きなところ(アンケート結果)」から分かることを考え、交流する。 ・資料②「話し合いの一部」を読んで、各項目の良さについて考え、交流する。 ・記事に書くとよいと思う項目を一つ選び、条件に合わせて自分の意見を書く。 ○複数の資料を的確に読んでいる。 【発言の様子、ワークシートの記述】 ○自分の考えを条件に合わせて書いている。 【ワークシートの記述】	[B 書くこと] イ [B 書くこと] エ

第二次	1 2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> 書く形式(新聞またはパンフレット)を選び、図表や写真などを用いて、紹介したい事柄を分かりやすく書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文(文章例)を読み、分かりやすく書くための工夫について考える。 図表や写真を活用するなど、工夫点を明確にして記述する。 <p>○工夫点を明確にして記述しているか。 【ワークシートの記述】</p> <p>○図表や写真などを活用して記述しているか。 【ワークシートの記述】</p>	[B 書くこと] エ [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] イ(キ)
第三次	1	<ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫について、良いと思うところを見つけて伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品を読み合う。 良いと思う表現を見付け、コメントを書く。 5年生に読んでもらう。 <p>○友達の記事を読み、良いと思う表現について見付けたことを伝えることができたか。 【交流の様子、ワークシートの記述】</p>	[B 書くこと] カ

〈新聞の構成例〉

〈パンフレットの構成例〉(A4版3つ折り)

